

研究区分	教員特別研究推進 国際共同研究・国際交流の推進
------	-------------------------

研究テーマ	ヨーロッパの大学との国際推進事業のプログラム化の開発：連携から協働へ				
研究組織	代表者	所属・職名	経営情報学部・教授	氏名	上野 雄史
	研究分担者	所属・職名	国際関係学部・准教授	氏名	森 直香
		所属・職名	国際関係学部・准教授	氏名	ファイファー・マティアス
		所属・職名		氏名	
	発表者	所属・職名	経営情報学部・教授	氏名	上野 雄史

講演題目	ヨーロッパの大学との国際推進事業のプログラム化の開発：連携から協働へ
------	------------------------------------

研究の目的、成果及び今後の展望	<p>本研究の目的は、ヨーロッパの大学との国際推進を進めるためのプログラムを開発することにある。コロナ禍において、行えることには限界がある。しかし、そうした中においても出来ることを行う、というスタンスでプログラムの開発を行った。まず重要なことは、教員との相互交流を進めること、学生にヨーロッパに対する関心を持ってもらう事、の2点を重点的に考えた。教員との相互交流の成果としては、ブレーメン経済工科大学との研究・教育プログラムの開発を進めている。その成果の一部を、オンラインワークショップ: Insurance Accounting: Perspectives from Japan and Europe を2021年5月31日に行い、公開した。本ワークショップでは、以下の日独の専門の先生方をお招きして、保険会計と規制をテーマに報告していただいた。</p> <p>Prof. Dr. Jan-Hendrik MEIER (クリスティアン・アルブレヒト大学キール) Dr. Stefan SCHWEINBERGER (アースト&ヤング、ドイツ) Prof. Nobuyasu UEMURA, Ph. D. (福岡大学) Prof. Takefumi UENO, Ph. D. (静岡県立大学) * Prof. Dr. Stefan VEITH (ブレーメン経済工科大学) *</p> <p>金融規制に関してはEUが先行する形で行われている。EU内で最も模範的に規制を実行しているといわれているドイツで得られた知見をうかがうとともに、日本の現在の状況をシェアすることを通じて、最適な保険業の金融規制、基準の在り方について考える機会を設定した。本ワークショップはオンラインで行い、日独の専門家20人以上に出席者して頂いた。現在、本ワークショップの成果を論文としてまとめるべく、現在共同研究を実施しているところである。また研究・交流の成果を還元すべく、2022年3月には共同での教育プログラムを試行することを計画している。</p> <p>学生にヨーロッパの関心を持ってもらうための取組みとしては、「ヨーロッパ留学体験記」を発刊した。これはヨーロッパの言語を教える教員とヨーロッパに留学した学生たちの現地体験がまとめたものであり、ドイツ、スペイン、フランスでの生活のありのままが書かれている。コロナ禍で、遠くに行くのは難しい状況が続いている中でも、自分とは異なる「なにか」への好奇心を失わずに、「洋行」を志してもらいたいという趣旨で書かれている。</p> <p>2021年度で得られたこうした成果に基づき、海外大学と実際に共通の目的をもって協働してプログラムを開発することで、より有用な教育プログラムを開発していく予定である。</p>
-----------------	--